



幼稚園だより

令和4年度
1月号

令和5年1月10日
文京区立湯島幼稚園
園長 前田 宏子

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

東京は天気の良い日が続き、年明けも晴れた空の下で令和5年が始まりました。また、雪の多い中で年明けをされた方は大変な状況だったことと思います。

今年は卯年。飛躍の年、向上の年なのだそうです。新しいことに挑戦することもよいそうです。うさぎにあやかり、ぜひ飛躍の年にしたいと思います。

去る1月6日にふれあい感謝状21の表彰式に参加してまいりました。湯島はやし連さんとは約10年にわたり、湯島幼稚園と交流をもっていたいただき、幼稚園で「和太鼓の会」としてお囃子の演奏をしていただいています。その交流が表彰されました。過去2年間はコロナ禍の影響で園での演奏をしていただくことができませんでしたが、今年久しぶりに来園していただくことができました。子どもたちにとっては心を揺さぶられ印象に残ったようで、その後の遊びや運動会のリズムにも生かすことができました。

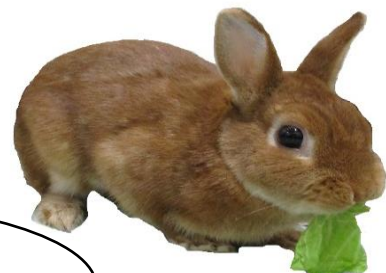
幼稚園は直接体験を大事にしており、実際にやってみたこと、実際にその場で見たこと、感じたことを大切にしています。体験をして心を揺さぶられると細かなことまで覚えていきます。その“心を揺さぶられる”経験が多いほど、子どもの中に大きな貯金ができるのだと思います。目には見えない貯金です。

こういった行事の開催には多くの方のご協力があってこそです。幼稚園だけではなく、地域の方のお力があるからこそできる経験です。今回のお囃子の経験も幼稚園に関心をもってくださいる方が来園をして、貴重な経験を子どもたちがすることができました。そのご縁があることに深く感謝いたします。

幼稚園では12月にもちつき会を行いました。この行事も幼稚園の保護者や地域の方のお力あってこそです。「子どもたちに杵でもちをつく経験をさせたい」という保護者の方の思いがあるからこそ開催することができました。今は機械でもちをつくこともできます。しかし、あえて手間も時間もかけて、この経験を子どもたちにさせたいと思う大人が幼稚園にいることを幸せに思います。効率化できることでよいこともたくさんあります。それと同じくらい手間をかけてやることで得ることもたくさんあるのだと感じます。子どもたちにはたくさんの手間ひまをかけた体験をしてほしいと思います。幼稚園での日々の生活にもその体験があふれています。

また、感染症対策は続きますが、3学期をみんなで元気に過ごしたいと思います。

今年も本園の教育にご理解ご協力のほど
お願いいたします。



湯島幼稚園のふうくんです
よろしくお願いいたします